

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、ゴールドマン・サックス・グローバル・ファンズ
ーGS 新成長国通貨債券ファンド(以下「ファンド」と
いいます。)は、マスター・ファンド(以下に定義します。)
への投資を通じて、エマージング諸国の主に現地通貨
建て債券に投資することにより、収入(インカム・ゲイン)
と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準
の投資トータル・リターンを獲得することをめざして
運用を行ってまいりましたが、2025年7月8日に償還
いたしました。

(注)本書において、ゴールドマン・サックス・ファンズ ゴールドマン・サックス・
エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオを「マス
ター・ファンド」といいます。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げ
ますとともに、受益者のみなさまのご愛顧に対しま
して、厚く御礼申し上げます。

通貨クラス (表示通貨)	第18期末		第18期	
	1口当たり 純資産価格	純資産総額 (単位:千)	騰落率 (%)	1口当たり 分配金額
普通(米ドル建て)クラス 受益証券(米ドル)	110.91	9,044	10.33	該当事項は ありません。
ユーロ・クラス受益証券 (ユーロ)	139.79	2,167	-0.36	
日本円クラス受益証券 (円)	5,735	608,738	7.90	

(注1) 騰落率は、税引前の分配金を分配時に再投資したものとみなして計算
しています。以下同じです。

(注2) 1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下
同じです。

その他記載事項

運用報告書(全体版)は代行協会のウェブサイトを
(www.gsam.co.jp)にて電磁的方法により提供して
います。

ファンドの運用報告書(全体版)は受益者のご請求により
書面で交付されます。書面での交付をご請求される方は、
販売会社までお問い合わせください。

償還交付運用報告書

ゴールドマン・サックス・グローバル・ファンズ
GS 新成長国通貨債券ファンド

愛称: ザ・プロフェッショナル
エマージング・カレンシー・ボンド

アイルランド籍／オープン・エンド契約型外国投資信託
普通(米ドル建て)クラス／ユーロ・クラス／日本円クラス

第18期
作成対象期間: 2024年12月1日～2025年7月8日(償還日)

代行協会員
ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント株式会社

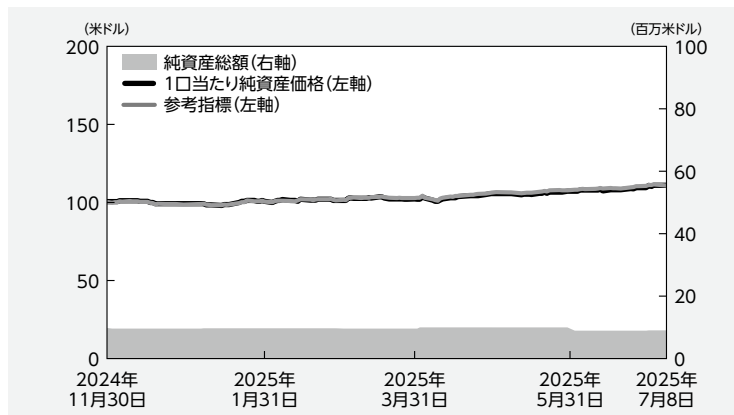
投資顧問会社
ゴールドマン・サックス・アセット・
マネジメント・インターナショナル

管理会社
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・
ファンド・サービスズ・リミテッド

運用経過

当期の1口当たり純資産価格等の推移について

■普通(米ドル建て)クラス受益証券



第17期末の1口当たり純資産価格

100.53米ドル

第18期末の1口当たり純資産価格

110.91米ドル
(分配金額: 該当事項はありません。)

騰落率

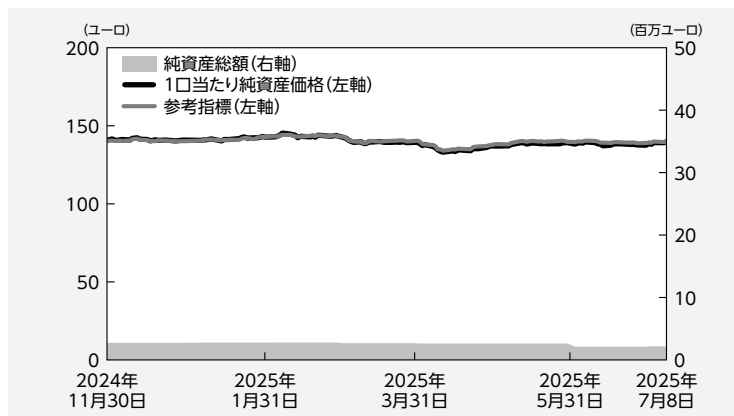
10.33%

(注1) ファンドの参考指標は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(トータル・リターン・グロス)です。以下同じです。

(注2) 参考指標は、第17期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

(注3) ファンドの購入価額により課税条件は異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

■ユーロ・クラス受益証券



第17期末の1口当たり純資産価格

140.30ユーロ

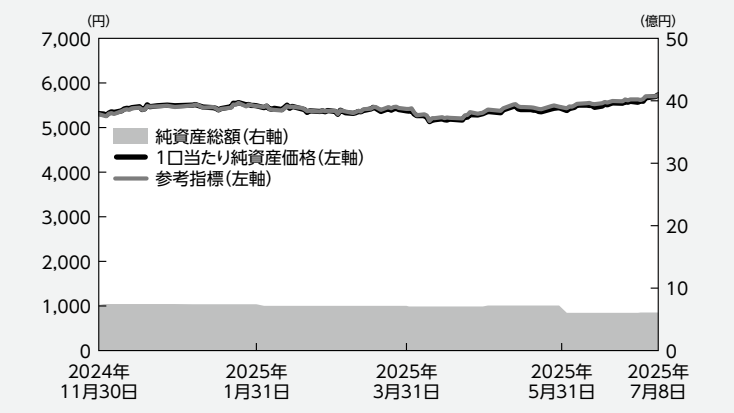
第18期末の1口当たり純資産価格

139.79ユーロ
(分配金額: 該当事項はありません。)

騰落率

-0.36%

■日本円クラス受益証券



第17期末の1口当たり純資産価格	5,315円
第18期末の1口当たり純資産価格	5,735円 (分配金額: 0円)
騰落率	7.90%

●1口当たり純資産価格の主な変動要因

上昇要因

エマージング債券市場 (現地通貨ベース) のトータル・リターンがプラスであったこと、保有しているエマージング債券からのクーポン収入などが1口当たり純資産価格の上昇要因となりました。

下落要因

タイなどの現地通貨建て債券のポジションなどが1口当たり純資産価格の下落要因となりました。

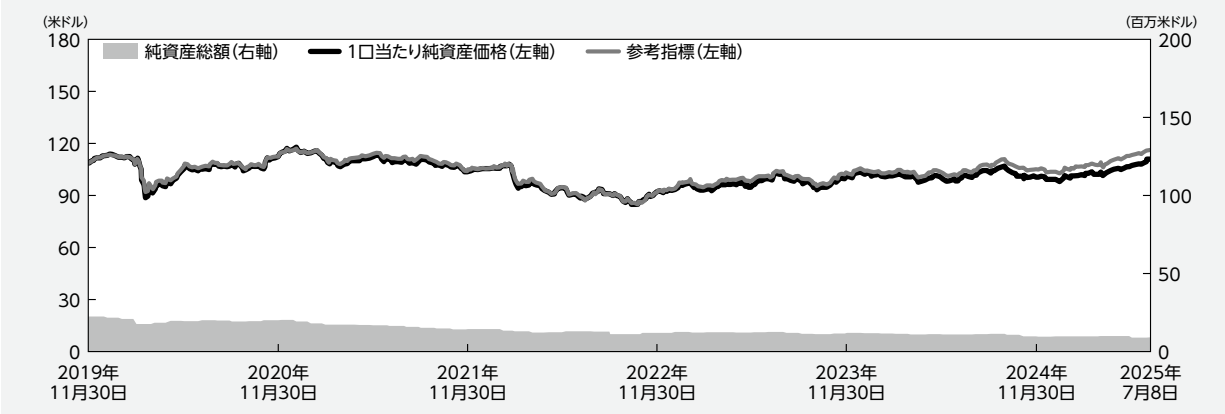
費用の明細

項 目	項目の概要		
運用管理費用 (管理報酬等)	<p>ファンドの投資顧問報酬、販売報酬および代行協会員報酬は、純資産価額に対して年率1.63%(投資顧問報酬は純資産価額の年率0.80%を超えず、販売報酬は純資産価額の年率0.80%を超えず、代行協会員報酬は純資産価額の年率0.03%を超えないか、または管理会社が合意するそれ以下の金額)を上限とします。</p> <p>ファンドにかかる年間報酬(管理会社報酬、投資顧問報酬、副投資顧問報酬、販売報酬、管理事務代行報酬、登録・名義書換事務代行報酬および代行協会員報酬ならびに受託報酬(純資産価額の年率0.01%にあたる金額か、または管理会社が随時合意する金額)を含みます。)および費用は、純資産価額に対して年率2.5%または管理会社が同意するそれ以下の金額を上限とします(該当するマスター・ファンドのレベルの報酬および費用の影響を含みます。)</p> <p>各報酬の支払先および役務の内容は以下のとおりです。</p>		
	報酬	支払先	役務の内容
	管理会社報酬	管理会社	ファンドの運用・管理、受益者からの問い合わせへの対応、受益者の口座開設等の受益者サービス業務に対する対価
	評価報酬	評価会社	ファンド資産に関する評価業務に対する対価
	投資顧問報酬	投資顧問会社	ファンドに関する日々の投資運用業務に対する対価
	副投資顧問報酬	副投資顧問会社	投資顧問会社に対する投資助言業務に対する対価
	管理事務代行報酬	管理事務代行业社	ファンドの純資産総額、1口当たりの純資産価格の計算等の日々の管理事務代行業務に対する対価
	受託報酬	受託会社	ファンドの資産の保管業務等の受託業務に対する対価
	販売報酬	日本における販売会社	日本におけるファンド証券の販売・買戻しの取扱い業務、運用報告書の交付業務、ファンドおよびファンドの投資環境に関する説明および情報提供業務に対する対価
	代行協会員報酬	代行協会員	1口当たり純資産価格の公表、ファンド証券に関する目論見書、決算報告書その他の書類の販売会社に対する交付等の業務に対する対価
	登録・名義書換事務代行報酬	登録・名義書換事務代行业社	ファンドの名義書換代行業務および受益者名簿記帳業務に対する対価
その他の費用 (当期)	0.59%	専門家報酬、その他の費用等	

(注)各報酬については、目論見書に定められている料率を記しています。「その他の費用(当期)」には運用状況等により変動するものや実費となる費用が含まれます。便宜上、当期のその他の費用の金額をファンドの当期末の純資産総額で除して100を乗じた比率を表示していますが、実際の比率とは異なります。

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について

■普通(米ドル建て)クラス受益証券

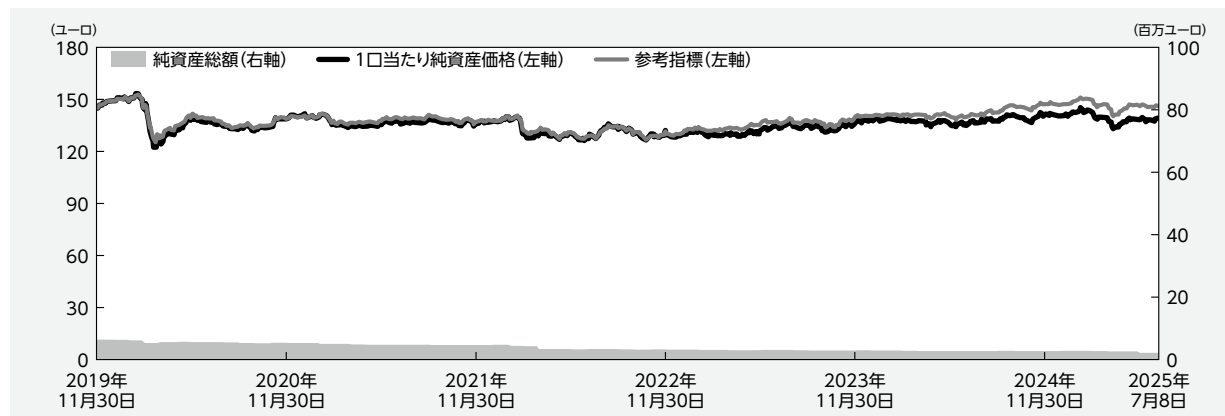


	第12期末 2019年 11月30日	第13期末 2020年 11月30日	第14期末 2021年 11月30日	第15期末 2022年 11月30日	第16期末 2023年 11月30日	第17期末 2024年 11月30日	第18期末 2025年 7月8日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	108.80	112.45	104.16	92.24	100.33	100.53	110.91
1口当たり分配金額 (米ドル)	－	該当事項はありません。					
騰落率 (%)	－	3.35	－7.37	－11.44	8.77	0.20	10.33
参考指標の騰落率 (%)	－	3.34	－7.02	－12.21	11.56	2.73	10.19
純資産総額 (千米ドル)	22,232	20,134	14,292	11,882	11,665	9,852	9,044

(注1) ファンドの参考指標は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(トータル・リターン・グロス)です。以下同じです。

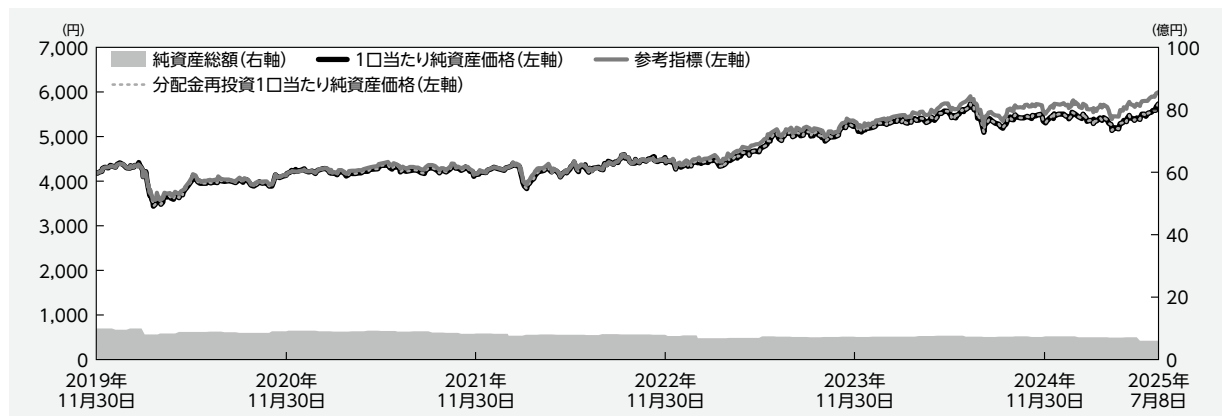
(注2) 参考指標は、第12期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。以下同じです。

■ユーロ・クラス受益証券



	第12期末 2019年 11月30日	第13期末 2020年 11月30日	第14期末 2021年 11月30日	第15期末 2022年 11月30日	第16期末 2023年 11月30日	第17期末 2024年 11月30日	第18期末 2025年 7月8日
1口当たり純資産価格 (ユーロ)	145.64	138.74	136.54	132.10	135.55	140.30	139.79
1口当たり分配金額 (ユーロ)	—	該当事項はありません。					
騰落率 (%)	—	−4.74	−1.59	−3.25	2.61	3.50	−0.36
参考指標の騰落率 (%)	—	−4.74	−1.19	−4.03	5.27	6.12	−0.47
純資産総額 (千ユーロ)	6,296	5,360	4,650	3,255	2,914	2,728	2,167

■日本円クラス受益証券



	第12期末 2019年 11月30日	第13期末 2020年 11月30日	第14期末 2021年 11月30日	第15期末 2022年 11月30日	第16期末 2023年 11月30日	第17期末 2024年 11月30日	第18期末 2025年 7月8日
1口当たり純資産価格 (円)	4,195	4,128	4,163	4,530	5,221	5,315	5,735
1口当たり分配金額 (円)	—	0	0	0	0	0	0
騰落率 (%)	—	−1.60	0.85	8.82	15.25	1.80	7.90
参考指標の騰落率 (%)	—	−1.60	1.25	7.89	18.19	4.36	7.78
純資産総額 (千円)	981,617	907,197	820,680	798,335	732,807	723,167	608,738

(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第12期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

投資環境について

エマージング債券市場

当期中のエマージング債券市場(現地通貨ベース)は、上昇しました。

期初にFOMC(米連邦公開市場委員会)参加者の見通しで2025年の米利下げ回数の減少が示されたことなどを背景とした米金利の上昇などが重石となった局面も見られたものの、その後は米関税政策や中東情勢への懸念が緩和したことなどから概ね上昇基調で推移し、期を通して上昇する結果となりました。

国別では、トルコやウルグアイなどが相対的に大きく上昇した一方で、チェコやコロンビアなどが相対的に下落しました。トルコについては、同国内で野党への弾圧とみられる動きが市場で懸念されていたなかで、野党党首に対する裁判が延期されたことなどが好感されました。一方、チェコについては、5月のインフレが前月から加速したほか、中央銀行が政策金利の据え置きを決定し、追加利下げに慎重な姿勢を示唆したことなどが重石となりました。

エマージング通貨市場

当期中のエマージング通貨は、対米ドルや対円では概ね上昇し、対ユーロでは概ね下落しました。通貨別ではチェコ・コルナやハンガリー・フォリントなどが上昇した一方、トルコ・リラやインドネシア・ルピアなどが相対的に軟調となりました。チェコ・コルナについては、チェコの中央銀行が追加利下げに慎重な姿勢を示唆したことなどが下支えとなりました。トルコ・リラについては、次期大統領選において野党の有力候補とされていたイスタンブール市長が拘束されたことを受け、政治への懸念が強まったことなどがマイナス材料となりました。

ポートフォリオについて

ファンド

運用方針に従い、当期を通じてファンドの資産をマスター・ファンドに投資しました。

マスター・ファンド

期首においては南アフリカやチェコの現地通貨建て債券のほか、インドネシア・ルピアなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方、インドやチリの現地通貨建て債券のほか、中国人民元やメキシコ・ペソ、韓国ウォンなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末にかけては償還に向け、保有銘柄の売却を進めました。

上記のような運用の結果、当期のパフォーマンス(米ドルベース)は、参考指標であるJPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(トータル・リターン・グロス)(米ドルベース)を上回る水準となりました。

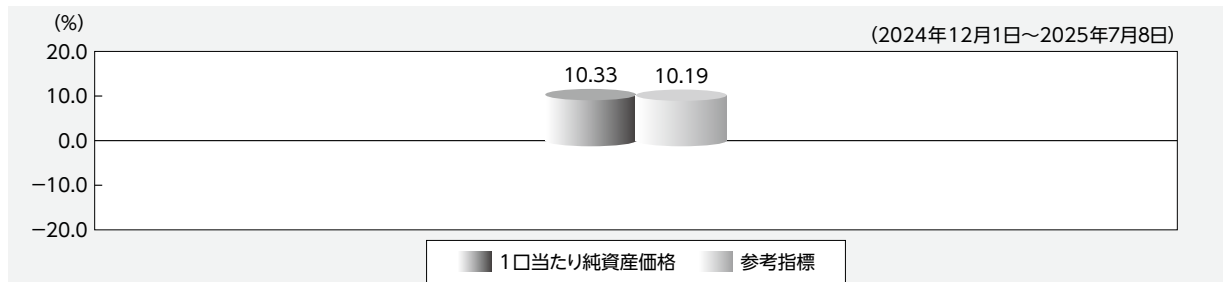
当期は、ブラジルなどの現地通貨建て債券のポジション、チェコ・コルナなどの通貨のポジションがプラス寄与となりました。一方、タイなどの現地通貨建て債券のポジションなどがマイナス寄与となりました。

ベンチマークとの差異について

ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、ファンドの1口当たり純資産価格または分配金再投資1口当たり純資産価格と参考指標の騰落率の対比です。

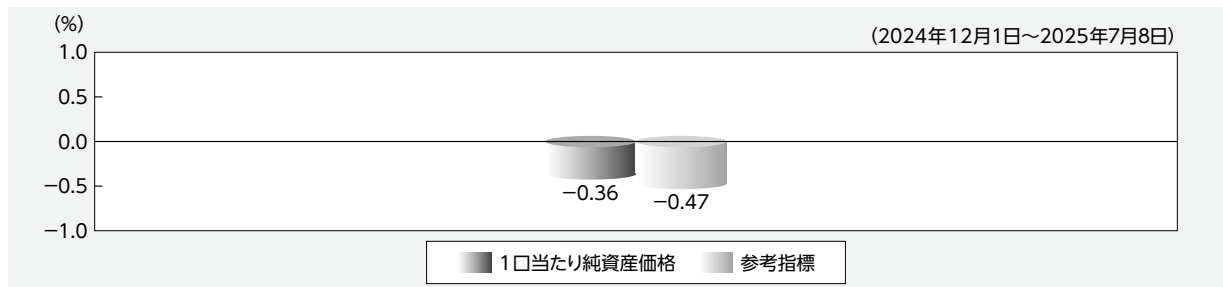
1口当たり純資産価格または分配金再投資1口当たり純資産価格と参考指標の対比

■普通(米ドル建て)クラス受益証券

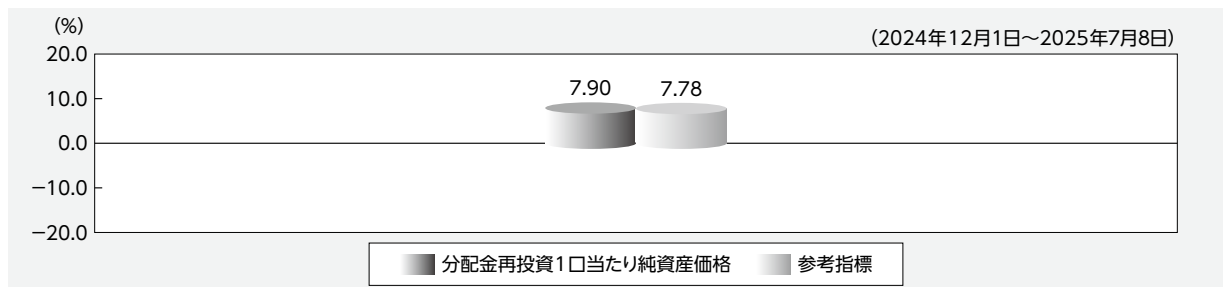


(注) ファンドの参考指標は、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(トータル・リターン・グロス)です。以下同じです。

■ユーロ・クラス受益証券



■日本円クラス受益証券



分配金について

■普通(米ドル建て)クラス受益証券

該当事項はありません。

■ユーロ・クラス受益証券

該当事項はありません。

■日本円クラス受益証券

該当事項はありません。

今後の運用方針

該当事項はありません。

お知らせ

ファンドは、2025年7月8日を償還日としてファンドの運用を終了しました。

ファンドの概要

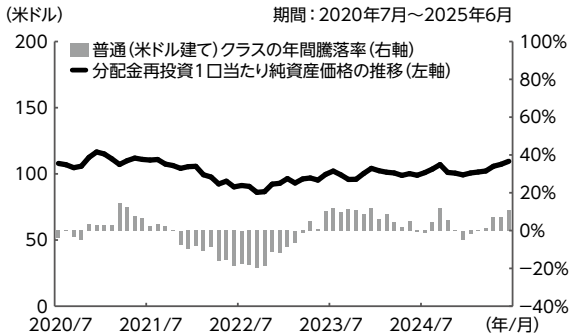
ファンド形態	アイルランド籍／オープン・エンド契約型外国投資信託
信託期間	信託証書等に定められる方法に従い解散されない限り、ファンドは無期限で存続します。 (注) ファンドは、2025年7月8日を償還日としてファンドの運用を終了しました。
繰上償還	下記の状況(ただしこれに限りません。)において管理会社はゴールドマン・サックス・グローバル・ファンズまたはファンドを終了させることができます。 (i) 受益者または当該ファンドの受益者により受益証券の償還を承認する特別決議が可決され、これに関して4週間以上6週間以下の通知が与えられている場合 (ii) 4週間以上6週間以下の通知が受益証券の保有者に与えられている場合(随時) (前述の一般性を侵害することなく、管理会社は、ファンドの純資産価額が30億円を下回った場合、またはマスター・ファンドのゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオが終了した場合、ファンドを終了させることができます。) 以下の事象が発生した場合(ただしこれに限りません。)、受託会社はゴールドマン・サックス・グローバル・ファンズまたはファンドを書面通知により終了させることができます。 (a) 管理会社が清算手続に入る場合 (b) 受託会社の合理的な見解において管理会社がその任務を遂行する能力を有しない場合
運用方針	ファンドは、マスター・ファンドへの投資を通じて、エマージング諸国の主に現地通貨建て債券に投資することにより、収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準の投資トータル・リターンを獲得することをめざします。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ● ファンドは、エマージング諸国の債券を実質的な主要投資対象とします。 ● マスター・ファンドは、投資プロセスにおいてマスター・ファンドの投資顧問会社が定める環境・社会・ガバナンス基準を通じて環境的・社会的な特性を推進します。 ● マスター・ファンドは、通常の状況において、自己の純資産(現金および現金同等物を除きます。)の少なくとも3分の2をエマージング市場に本拠を置くまたはエマージング市場から収益の大部分を得ているエマージング市場の政府または企業により発行される譲渡性のある確定利付証券に投資します。 ● マスター・ファンドは、転換可能債券(偶発転換証券(CoCos)を含みます。)にその純資産の25%を上限として投資する可能性があります。 ● マスター・ファンドは、投資方針の一環として、またヘッジ目的のために、金融派生商品の取引を用いる可能性があります。
ファンドの運用方法	ルクセンブルク籍の投資法人であるマスター・ファンドに投資することにより運用します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ● 確定利付証券への投資はマスター・ファンドの純資産(現金および現金同等物を除きます。)の3分の2以上とします。 ● 私募証券、非上場株式または不動産等、すぐに現金化できない流動性に欠ける資産に対しその純資産価額の15%を超えて投資を行いません。 ● 空売りされる有価証券の時価総額は、ファンドの純資産価額を超えないものとします。 ● ファンドの純資産価額の10%を超えて、借入れを行わないものとします。
分配方針	普通(米ドル建て)クラス受益証券／ユーロ・クラス受益証券／日本円クラス受益証券：分配を行う予定はありません。

参考情報

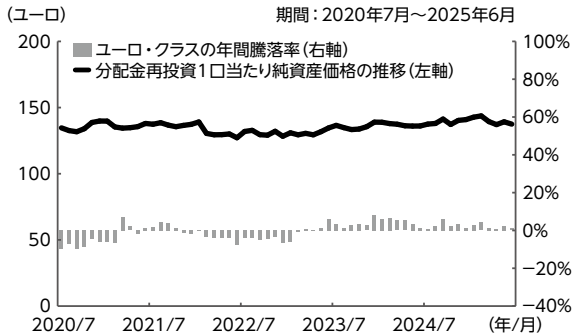
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

ファンドの年間騰落率および 分配金再投資1口当たり純資産価格の推移

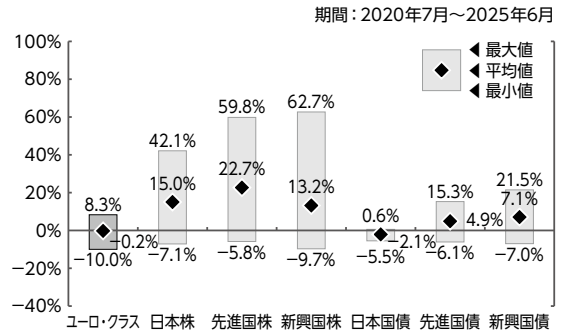
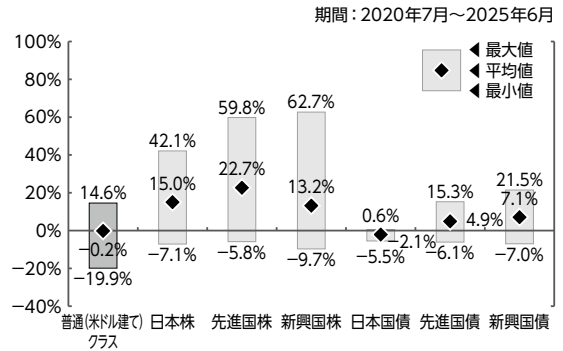
■普通(米ドル建て)クラス受益証券



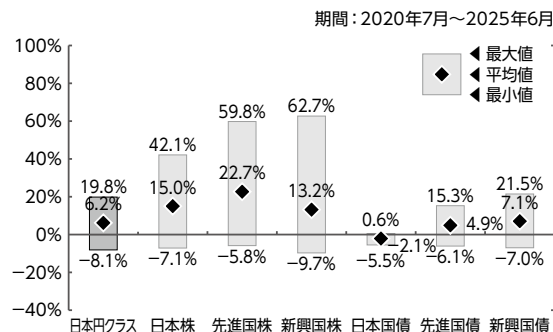
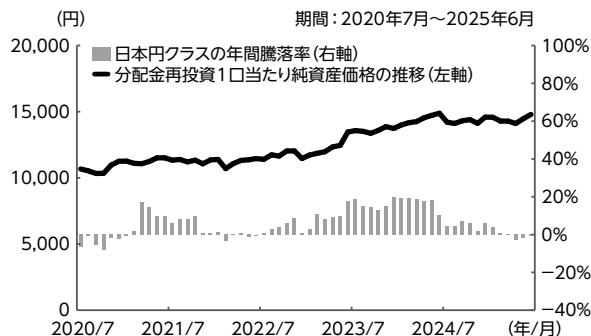
■ユーロ・クラス受益証券



ファンドと他の代表的な資産クラスとの 騰落率の比較



■日本円クラス受益証券



●年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率を表示したものです。

●グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

●すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。ファンドにはベンチマークはありません。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

□東証株価指数 (TOPIX) の指数値および東証株価指数 (TOPIX) に係る商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。□MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCIインクに帰属します。MSCIおよびMSCIの情報の編集、計算、および作成に関与するその他すべての者(以下総称して「MSCI当事者」といいます。)は、MSCIの情報について一切の保証(独創性、正確性、完全性、商品性および特定目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。)を明示的に排除します。MSCI、その関連会社およびMSCI当事者は、いかなる場合においても、直接損害、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰損害、派生的損害(逸失利益を含みます。)およびその他一切の損害についても責任を負いません。MSCIの書面による明示的な同意がない限り、MSCIの情報を配布または流布してはならないものとします。□NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。□FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。□JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバルに関する著作権は、J.P.モルガン・セキュリティー・エルエルシーに帰属します。

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

ファンドの分配金再投資1口当たり純資産価格および年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した1口当たり純資産価格および当該1口当たり純資産価格の年間騰落率が記載されており、実際の1口当たり純資産価格および実際の1口当たり純資産価格に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

ファンドデータ

ファンドの組入資産の内容(第18期末現在)

有価証券等の組入れはありません。

純資産等

項 目	第18期末
純資産総額	普通(米ドル建て) クラス受益証券 9,044,056米ドル
	ユーロ・クラス 受益証券 2,167,211ユーロ
	日本円クラス 受益証券 608,738,190円
発行済口数	普通(米ドル建て) クラス受益証券 81,544口
	ユーロ・クラス 受益証券 15,503口
	日本円クラス 受益証券 106,143口
1口当たり 純資産価格	普通(米ドル建て) クラス受益証券 110.91米ドル
	ユーロ・クラス 受益証券 139.79ユーロ
	日本円クラス 受益証券 5,735円

第18期			
通貨クラス	販売口数	買戻口数	発行済口数
普通(米ドル建て) クラス受益証券	1 (1)	16,452 (16,452)	81,544 (81,544)
ユーロ・クラス 受益証券	0 (0)	3,941 (3,941)	15,503 (15,503)
日本円クラス 受益証券	4 (4)	29,933 (29,933)	106,143 (106,143)

(注) () の数は本邦内における販売・買戻しおよび発行済口数です。